

昭和九年中福岡地方労働争議の概況

- 一、争議發生の原因と業態別狀況
- 1、争議發生原因
- 2、業態別發生狀況
- 二、争議の手段と解決狀況
- 1、争議の手段
- 2、解決狀況

昭和九年中福岡地方労働争議の概況

一、争議發生の原因と業態別狀況

概要——福岡地方に於ける本年中の労働争議は發生件数四十三件  
参加人員千七百九十七人にして、之れを前年の四十三件千八百九  
十九人に比すれば件数に於て一十人員に於て百二人の減少となり  
發生件数より見れば昭和七年は四十三件なるが故に最近三箇年間  
殆んど變化なしと雖も、其の参加人員に至りては漸次減少して小  
規模の争議となつたことを示してゐるのである。それは争議が比  
較的中小企業に多く發生したると、一面右翼労働組合が最近産業  
協力労資協調を標榜して争議減少化方針を採つてゐることの影響  
も亦不尠と想はるのである。然しながら引續きインフレ景氣に  
乗る特殊工業を始め筑豊地方其他の石炭業<sup>産</sup>或は亦海運界等の括  
況は、勢ひ賃金値上其他の労働條件改善要求の積極的な争議が増